

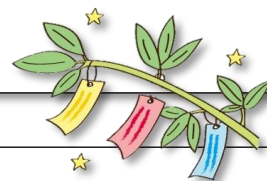
あけぼの

上越市立直江津南小学校

「もうすぐ夏休み！」 ～7月全校朝会・講話より～



- ◆もうすぐ、皆さんが楽しみにしている夏休みが始まります。今日は、夏休みの自由研究の参考になるようなお話をします。
- ◆皆さんは、「ファーブル」という人を知っていますか？身近にいる昆虫をじっくり観察し、「昆虫記」という本にまとめた人です。ところで、皆さんがよく知っている「セミ」の一生をたどってみましょう。セミは、木の下の土の中で生まれ、その後、トンネルを掘って地上に出てきます。ここで問題です。「セミが掘ったトンネルの土は、どこにいったのでしょうか？」ファーブルは、セミを何日もかけてじっくり観察し、ある仮説（予想）を立てました。そして、それを実際に確かめたのです。その結果、ずっと分からなかった疑問が解決しました。その答えは……、2学期の始業式でお話しします。
- ◆皆さんに伝えたかったのは、『不思議だな』『なぜだろう』という疑問をもつこと、そして、「仮説（予想）を立てて、それを確かめてみること」の大切さです。この夏休みの間に、ファーブルになったつもりで、いろいろな自由研究にチャレンジしてみてください。
- ◆皆さんは、この人を知っていますか？今の上越市出身で、日本の郵便制度の仕組みを作ったことから、「郵便制度の父」と言われている前島 密（まえじま ひそか）さんです。1円切手の肖像画としても使われています。この方の偉業を称えて、毎年、「絵手紙コンクール」が行われています。（対象：4年生以上）
- ◆その他にも、「発明工夫・模型工作展」や「アイデア貯金箱コンクール」、ポスターや絵画、作文、感想文、習字、統計グラフなど、いろいろなコンクールがあります。学校からのおたよりを見て、お家の人と相談しながら、関心のある課題に取り組みしましょう。
- ◆楽しい夏休みを迎えるためにも、1学期のまとめをしっかりとって、夏休みの計画を立てましょう！



【コラム】 「遊びの中の想定外に学ぶ」 ～藤原和博さんの講演より～

6月15日（土）に、オーレンプラザで、「AI時代を生き抜く子どもの育て方」というテーマの教育フォーラムがありました。講師は、教育改革実践家の藤原和博さんです。藤原さんは、これからの時代に生きる子どもたちには、「情報処理力」（頭の回転の速さ）だけでなく、「情報編集力」（頭の柔らかさ）が必要だと言います。正解がない問題に対して自分で仮説をたくさん出して、他者と議論しながら両者が納得する「解」（納得解）をつくるのが重要だということです。「遊びの中にこそ、編集力の伸びしろがある。遊んでいる時、想定外のことがたくさん起こる。その都度仮説を出し、うまくいかなかったら修正する。遊びの中にある想定外に、全身で立ち向かう訓練をしてもらいたい。」

この場合の「遊び」というのは、身体感覚を総動員したり、他者と関わり、折り合いをつけたりしながら工夫を繰り返すような「創造的な遊び」だと考えます。そういう経験は、特に幼児期や小学生の時に、十分に経験しておく必要があるのではないのでしょうか。

＜文責：細井一貞＞

がんばりました！ 市親善ミニバスケットボール大会

6月14日（金）に、リージョンプラザを会場に行われました。歴史ある大会ですが、今年で最後になります。結果は、以下の通りです。



男子Aチーム 準優勝
女子Aチーム 準優勝
女子Bチーム 3位

素晴らしいがんばりでした。課外活動としての練習の成果が発揮されました。応援に駆けつけてくださった皆さん、ありがとうございました。



こんにちは よろしくね ヤギさん！

今年も1年生の生活科でヤギを飼うことになりました。7月2日（火）に中庭の「ヤギ小屋」に真っ白な2頭のヤギを迎えました。1年生は大喜びでした。事前に2年生からヤギについて教えてもらったり、「ヤギを迎える会」の準備をしたりしてヤギを迎えました。



早く1年生と仲良くなろうね。